

報 告 書 抄 録

ふりがな	ほうようじいせき・よこぜきいせき							
書名	法養寺遺跡・横関遺跡							
副書名								
巻次								
シリーズ名	甲良町埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号								
編著者名	木下 義信 竹原 弘展 (株式会社パレオ・ラボ)							
編集機関	甲良町教育委員会社会教育課			公益財団法人滋賀県文化財保護協会				
所在地	滋賀県犬上郡甲良町大字在土353-1			滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2				
発行年月	平成31年(2019年)3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
ほうようじいせき 法養寺遺跡 よこぜきいせき 横関遺跡	しがけんいぬかみぐん 滋賀県犬上郡 こうらちょう 甲良町 おおあざだいじ 大字在土	254428	442-034 . 442-035	35° 20' 21" . 35° 20' 40"	136° 26' 09" . 136° 26' 51"	20170411 ～ 20170607	1,012㎡	(仮称) 甲良町 総合防災センター 建設工事
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
法養寺遺跡 ・横関遺跡	集落跡	飛鳥時代 ～ 奈良時代		竪穴建物 掘立柱建物 溝 土坑 小穴		土師器 須恵器 石製品 金属製品		
要約	<p>①飛鳥時代から奈良時代にかけての集落跡を発見した。最も古い遺構は、幅5mからなる直線の溝で、当地における扇状地開発の一端を示す灌漑水路と考えられる。</p> <p>②炉壁や銅の鑄造に関わる埴塼が出土し、当遺跡において金属製品が生産されていた可能性を指摘した。特に埴塼は、その特徴から中央の技術が波及したものと推測した。当該地域においては、古代の銅の生産に関わる遺物の発見は初見であり、地域における銅製品の生産を探る上で貴重な成果を得た。</p>							